

天日陰比咩神社(二宮神社)

当社は第十代崇神天皇の御代に御鎮座の官幣社で二千有余年の歴史をもつ延喜式内社であります。また、往古より菊の御紋を装飾した上日庄(あさひのしょう)、郷十八ヶ村の総社氏神でありました。建長四年四月(鎌倉時代)能登國一の宮 気多大社につぐ名社として能登國二の宮に指定され、広く各地より崇敬された御社であり、文徳天皇より後円融天皇まで九度にわたって神位を受けています。

御由緒

社殿の後山は天日加氣山(あめひかげやま)と云い、頂上の大御前峰社趾は天日陰比咩大神を祀り羽咋鹿島両郡市の雨乞い所で、中腹の中御前社は崇神天皇の御廟趾で皇子印色之入日子命(いにしきのいりひこのみこと)の御陵墓趾でもあります。辛酉六十一年目毎に三日間にわたり執行される例大祭羽咋鹿島両郡市諸難退散祈願祭には、近郷より山車や獅子舞等の奉納があり、老若男女多数の参詣で賑わい、盛儀を極め現在に至っております。



二宮(集落名)の由来

往古はこの神社境内地に、天日陰比咩神社と伊須流支比古(いするぎひこ)神社の二社が鎮座されていた故に、集落名を二宮と云い神社名も二宮大明神と呼ばれていました。石動山は往古枝摺樹山(えするぎざん)と呼ばれ、老木大木折り重なり山鬼等の怪しき物の棲む山と恐れられ、秦澄法師が開山にあたり、それを鎮める為に養老年間、二宮の神社境内に鎮座されていた二社の内の一社、伊須流支比古神社の御分霊を現在の大峰に勧請したと伝えられています。

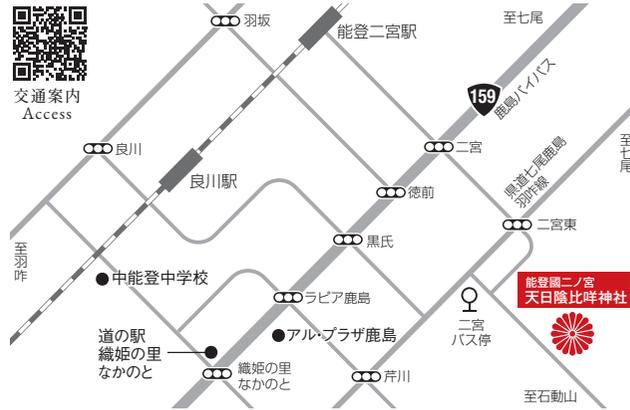


天神・稲荷社

学問の神として尊崇される菅原の神を祭る天神社と、食物の神と商売繁盛の神として尊崇される、宇迦御魂神を祭る稲荷神社が合祀されています。



恒例祭	新年祭	一月一日・二日・三日
	祈年祭	三月二十日
	春季祭	四月十八日
	例大祭・麦祭	六月十五日
	夏越大祓	六月三十日
	夏祭	七月 第二日曜日
	秋季祭	九月 第二日曜日
	新嘗祭(とぶろく祭り)	十二月五日

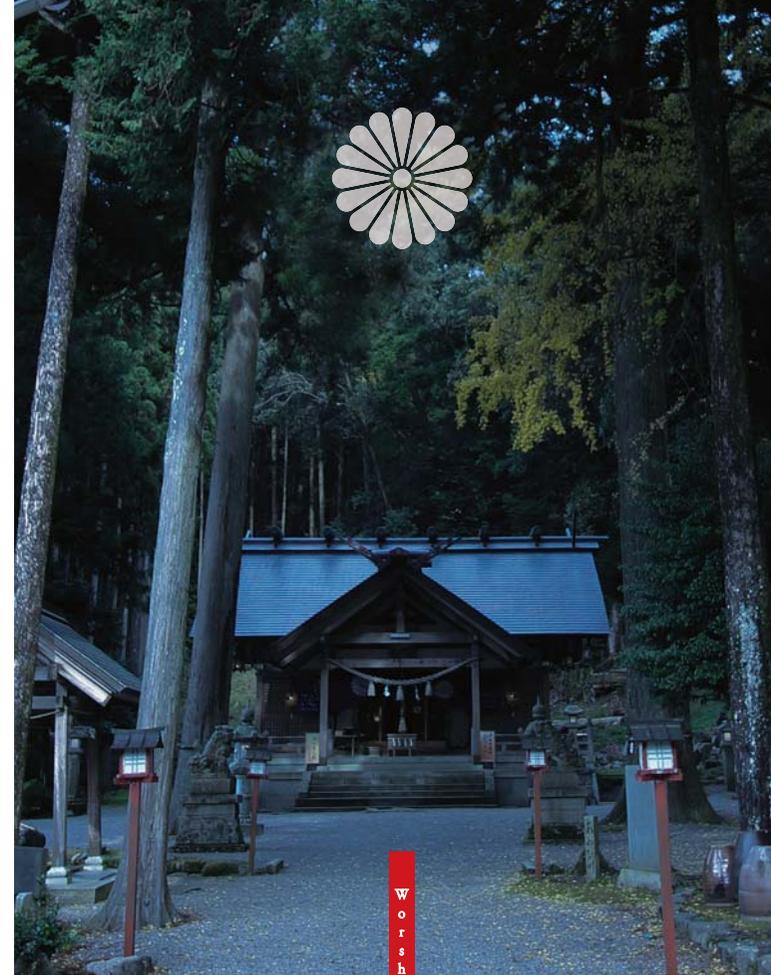


あめひかげひめ 能登國二ノ宮 天日陰比咩神社

祭神/屋船久久能智大神 天日陰比咩大神
 相殿/(二宮神社) 伊須流支比古大神 大己貴命 応神天皇 大毘古命
 配祀/崇神天皇 印色之入日子命 建御名方命 伊弉諾大神 菊理媛命
 大山咋命 天照大御神 岡象女神 波多八代宿禰命 二宮水天宮
 豊受大御神

TEL.0767-76-0221 <http://amehikage-hime.jp/>

〒929-1811 石川県鹿島郡中能登町二宮子甲8(駐車場あり・無料)
 [アクセス] JR七尾線良川駅から約4km(車約7分) or 北鉄バス二宮バス停から700m(車1分、徒歩5分)

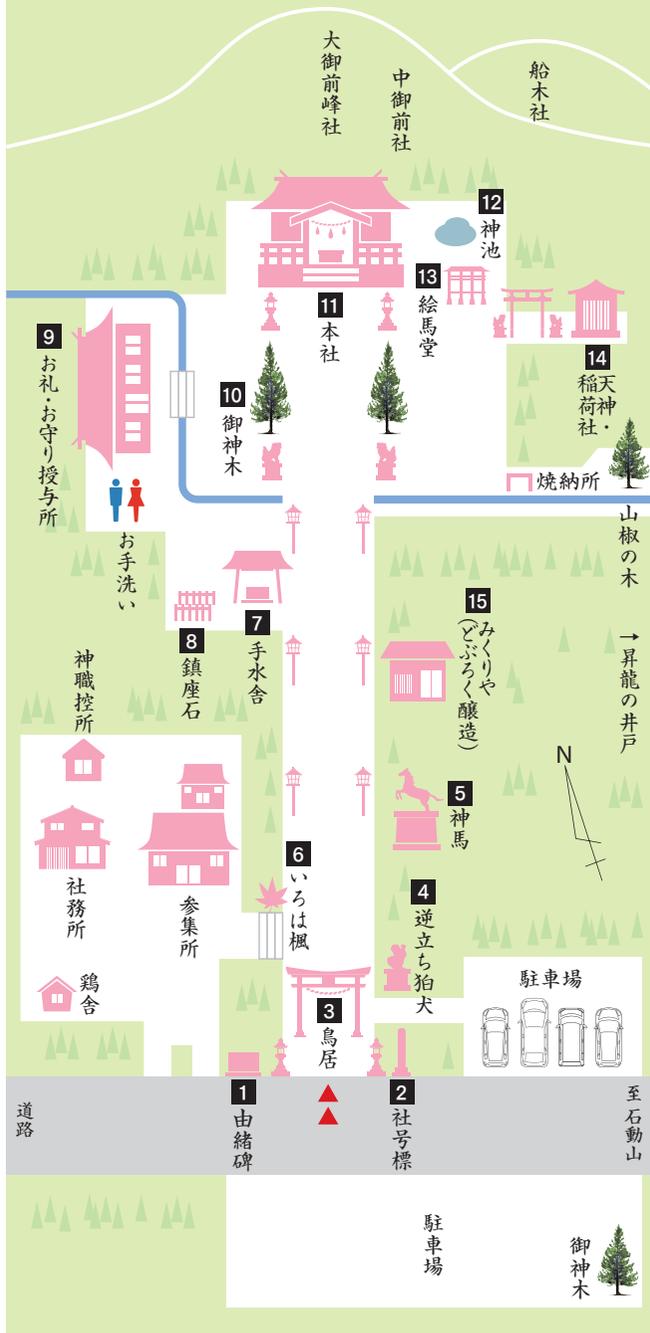


Worship

し 参 お 拝 り の

能登國
二ノ宮
天日陰比咩神社

天日陰比咩神社境内図



1 由緒碑



2 社号標



3 鳥居



4 逆立ち狛犬



5 神馬



6 いろは楓(かえで) 中能登町文化財

根廻り2m、南枝10m、西枝6mの二枝に分かれた樹齢600年余りの大木です。南と西に枝が分かれ、龍の形をしていることから「龍髭(りゅうしゅ)楓」と云われています。



7 手水舎



8 鎮座石

現在の石動山が泰澄法師によって開山される以前は枝摺樹之山と呼ばれ、天狗又は蝮、狼、狐、狸等の棲む山として里人に恐れられていました。鎮座石の表面にある大小二つの足跡は天狗の足跡と言えられています。



9 お礼・お守り授与所



10 御神木



11 本社



12 神池



13 絵馬堂



14 天神・稲荷社



15 みくりや(とぶろく醸造) 正月三日は初詣の参拝客に振る舞われます



当神社は酒造りの祖神と云われる大三輪の神が祭られ、往古より酒造りが伝承され、この「みくりや」で醸造された濁酒は12月5日の新嘗祭(とぶろく祭り)にお供へし、祭典終了後、参拝客に振る舞われます。神事お供え用のとぶろく醸造は、12月5日～3月上旬までは、ご祈祷やお祓いを受けられた方々へ、お下がりとして授与しております。

特別拝観



懸仏 中能登町文化財

熊野三社権現像で元禄三年加賀の宮崎彦九郎義治作です。



長柄の銚子 純金製

加賀百万石前田家の寄進で、銚子の表面全体に家紋の梅鉢の紋が彫りこまれています。



神事舞

当社で舞われる「神事舞」です。大祭時に大神さまに奉納する舞です。